

会 議 議 事 録

1 会議名	第1回長岡市新しい市役所検討市民委員会
2 開催日時	平成19年5月25日（金）午後2時30分から午後4時まで
3 開催場所	長岡市役所4階大会議室
4 出席者名	委員：井上委員、小川委員、金子委員、鯉江委員、齋藤委員、 関川委員、田村委員、外山委員、原委員、樋口委員、 渡辺委員、五井委員、山田委員 市側：森市長（冒頭）、二澤副市長、高橋総務部長、磯田都 市整備部長、片桐財務部長、田口行政管理課長、中野ま なか整備課長、行政管理課職員（4名）
5 欠席者名	福田委員、三上委員
6 議題	（1）中心市街地への市役所移転に関するこれまでの経過につ いて （2）市民委員会の検討内容等について
7 審議結果の概要	・ 中心市街地への市役所移転に関するこれまでの経過につ いて説明を行った。 ・ 2回目以降に本委員会で検討すべき内容等について意見交換 を行った。
8 審議の内容	<p>（別添次第及び資料に基づき議事を進行した。以下に要点を記す）</p> <p>1 開 会 （省略）</p> <p>2 市長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none">・ 本庁舎の移転については、昨年度、長岡造形大学の豊口理事長を会 長とする行政機能再配置検討市民委員会における検討、市議会の議 決を経て、正式に厚生会館地区を中心とする地区に移転することが 決定している。

- その中身を未だよく知らない市民からは「既存の厚生会館の機能が無くなってしまう」「駐車場の確保が心配だ」といった不安も寄せられているが、「コンパクトシティの実現」や「市民との協働」といった観点から、今後、計画が明らかになるにしたがって、必ずや理解してもらえ、支持してもらえると確信している。
- 今回はハード面のみならず、市民との協働や新たな時代に相応しい行政組織をどのように実現するのかなど、ソフト面の検討を行い、21世紀に相応しい先進的なモデルとして、全国に誇れるシティホールを実現していきたいと考えている。
- 一般的に、市役所は役人が仕事をする場所、証明書を受け取りに行く場所といったイメージが強いが、本委員会では、市役所が市民の心の拠り所、市民に不便のないサービスを提供する場となるようにするには、どのようなソフトがあり得るかなど、是非、市民の感覚で検討していただき、市民と協働ができるシティホールを皆さんの力を借りて確立していきたい。

(以降、市長退席)

3 委員紹介

(省略)

4 会長及び副会長の選任

(委員の提案に基づき、会長には原委員、副会長には田村委員が選任された)

5 議事

(1) 中心市街地への市役所移転に関するこれまでの経過について

(行政管理課長が資料に基づき説明。これに対する意見・質問は特になし)

(2) 市民委員会の検討内容等について

(行政管理課長が資料1・2に基づき説明)

委員	<p><説明に対する意見・質疑></p> <ul style="list-style-type: none"> 資料1のスケジュールの中で、平成20年2月までに「ステップ1」の計画を明らかにする一方、建物のコンペは今年10月までに終え、12月から基本設計が始まることになっている。 新しい市役所の具体像がまとまる前に、建物の設計に着手するスケジュールとなっているが、建物の設計に関わるような内容は、本委員会の中で検討しないという理解でよいのか。
都市整備部長	<ul style="list-style-type: none"> ここでいうコンペは、建物の設計者を選定するためのものである。コンセプトを含め計画内容がコンペの提案と異なっても、設計への反映は可能と考えている。 基本設計や実施設計には、本委員会の検討結果や市民からの意見を反映させていきたいと考えている。したがって、本委員会で、建物を含めたハード面の議論をしていただいても構わない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 新庁舎の建設は100億円を超える大事業であり、これによってどのような波及効果が生まれるかは、納税者である市民にとって非常に関心が高い。 新しい市役所のコンセプトが非常に重要であり、かつ長期的な観点も踏まえて検討する必要がある。 重要なコンセプトの一つが「開かれた市役所」「まちにとけ込んだ市役所」の実現である。 新しい市役所を高層化する、または、出来るだけ市民が色々なセクションと接することができるよう、通りに面して横に伸ばすといった空間構成をどうするのか、また、シティホール全体として考えていくことも重要である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 説明にもあった中心市街地構造改革会議の提言について、補足させてもらいたい。提言にある「まちなか型公共サービス」という概念を打ち出した当時、本庁舎の中心市街地への移転は想定しておらず、行政や商業だけではなく、様々な機能を中心市街地に集積させたいという思惑があった。 本委員会では、新本庁舎の移転先である厚生会館地区だけを検討の対象とするのか、それとも、広く中心市街地に対しても言及できるのか。

<p>行政管理課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 先ほどの説明の中で、行政機能を中心市街地へ一括配置するか、分散配置するかは結論が出ていないとの話があったが、分散配置する場合には、厚生会館地区以外も検討対象に含まれることになるが。 基本的には、公会堂と屋根付き広場、市役所の三者一体のシティホールという考えの中で、厚生会館地区における新庁舎のあり方の検討が主になると認識している。 しかし、行政機能を一括配置するのか、分散配置するのか最終的な結論が出ていないなかで、必要となる範囲について議論していただくことになるかと認識している。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行政機能を一括配置するのか、分散配置するのかは本委員会の検討テーマの一つとなるのか。
<p>行政管理課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本委員会の中で議論いただくべき事柄の一つと認識しているが、最終的には皆さんの意見をもとに、市の理事者側で判断し、市議会でも審議することとなる。 委員の中には、行政機能再配置検討市民委員会のメンバーだった方もいるので、一括配置か、分散配置について意見をいただければ幸いである。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 分散配置か、一括配置かも含めて議論しなければまとまらない。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎の形ありきではなく、市民に開かれた行政など、目指すイメージを明らかにした上で議論を進めるべきではないか。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 議論の中で何を目的とした市役所なのかをきちんと捉えておかないと、どういうものがよいということにならない。 具体的には、合併により行政が広域化した中で、市役所にどのような機能を持たせるのか、また、長岡市を理解するような教育の場として、市役所にどのような機能を持たせるのかなど。 特に後者は、非常に重要な観点である。例えば、市内には小学生だけで3万人近くの児童がいるが、現在の教育プログラムの中で、これらの児童は行政がどういうことを行っているのかを理解出来ていない。次世代の市民が行政と触れ合える機能も必要である。

委員	<ul style="list-style-type: none"> さらに、中心市街地の活性化を目指した市役所等々、6月の時点で本委員会での検討の軸をはっきりと定めるべきである。
行政管理課長	<ul style="list-style-type: none"> 検討内容について、今から議論の参考として「検討事項の例」に関する資料を配るので、ご覧いただきたい。(追加資料に基づき、検討事項の例を説明)
委員	<ul style="list-style-type: none"> 新本庁舎に持たせる機能と既存の支所の機能との役割分担について、どのように考えているのか。
行政管理課長	<ul style="list-style-type: none"> 支所については、合併協議に基づき、現在の行政サービスを維持していくことが基本。新本庁舎の建設により、既存の支所の機能を縮小するような考えはない。 現実的に議場がなくなり、会議室が空いているといった現状の問題はあるが、支所の活用のあり方については、別途、地域住民の方々と話し合いながら検討していきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある中心市街地という観点から、厚生会館地区だけではなく、大手通地区全体の街をどのようにデザインするのかを議論すべきではないか。 現在、大手通地区では空きビルの跡地が駐車場になるなど、色々な動きがある。そういった情報も出してくれると有難い。
都市整備部長	<ul style="list-style-type: none"> まち全体のイメージがつかみやすいような資料も、次回以降では提供していきたい。 庁舎の集中・分散については、まちづくりのみで考えるのではなく、市役所が開かれるにはどうしたらいいかという視点から考えていくことが必要だと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 私は、中心市街地のまちづくりのためだけに、行政機能を分散配置すべきと言ったのではない。市役所はそれ自体、あるコンセプトのもとに作り上げられるべきということを申し上げた。 開かれた市役所、市民と協働するとはどういうことなのかを考えた上で、これに対応する空間設計、機能を当てはめていけばよいのではないか。

委員	<ul style="list-style-type: none"> 今の発言に同感である。追加資料にあるような検討事項の例は細かすぎる。はじめに、これらを大きく括った場合にどのような市役所になるのかを明らかにすべきではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 新庁舎は、小規模でかつ市民が気軽に利用できるような行政機能を持たせ、それ以外の機能は再開発で建設された建物を利用すればよいのではないか。 行政機能をシンボリックな大規模建物に一極集中させるのも一つの考え方だが、市民が接しやすいような配置、四方八方から集えるような動線を考えるべきではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 行政機能を一箇所にまとめることより、大手通地区の中に分散配置させ、多くの市民が大手通を歩いているような施設のあり方が望ましい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 今回は、市民との協働の推進、便利なサービスのあり方を中心に議論を始めればよい。その次の段階として、厚生会館地区にどのような機能を持たせるのかといった議論を進めていくべきである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 市民は行政サービスの充実を求めている。行政サービスとは何か、本庁舎が移転することによって何が心配であるか、これらが議論の重要なポイントになると思う。 行政サービスをさせていただいているという意識のもと、市民との協働という考えが生まれるのではないか。 一番大事な点は、市民とかけ離れた視点で議論をしない、また、ある条件下でそれを充実させるようなことを考えるのではなく、はじめにあるべき姿から考えていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 「協働」という概念が分りづらい。この言葉を市の方ではどのように考えているのかを聞かせて欲しい。「協働」とは、市民と行政が同じ方向に向かって動こうとしているのか、または、向き合おうとしているのか。
行政管理課長	<ul style="list-style-type: none"> 難しい概念と認識しており、委員の方の考えを是非聞かせて欲しい

委員	<ul style="list-style-type: none"> 雪国という環境下で、行政機能を分散配置した場合、市民の皆さんが苦にならないような工夫が必要である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 配布資料の「厚生会館地区における施設イメージ図」では、広場の屋根が透明になっているが、これは現在の建築技術で可能なのか。
都市整備部長	<ul style="list-style-type: none"> 半透過性の屋根は技術的に可能であると考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 「協働」「開かれた市役所」という言葉は、市民によっても捉え方が異なる。やはり事務局の方から案を示してもらわないと議論が進まない。
総務部長	<ul style="list-style-type: none"> 仰ることは十分理解している。本日は初回ということもあり、それぞれの委員の考えを出来るだけ披露していただくため、議論のきっかけとなるような部分のみの提示となっている。 2回目以降では、本日、議論いただいた内容を整理した上、今後の具体的な検討事項を示すので、より活発な議論をお願いしたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 市民が1箇所でも用を済ますことができることが基本だが、このために大規模な市役所を建てなくても、IT等を活用すれば分散配置しても支障はないのではないか。 行政機能再配置検討市民委員会の中間報告の中で、新本庁舎の床面積が出されている。 どの部署とどの部署を配置すると、どの程度の床面積が必要になるのかなど、イメージで構わないので資料を提示してもらうことは可能か。
行政管理課長	<ul style="list-style-type: none"> 次回に一定の考えが分るような資料を提示する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 併せて、古くても構わないので、市民がどのような部署を訪問することが多いのかが分る資料も提示して欲しい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> どこに行ったら必要な用を済ますことができるのかを、市民にとって分かりやすくすることも重要である。

	<p>6 その他 (事務局より、次回は6月19日(火)午後3時30分ごろからの開催を予定している旨を連絡)</p> <p>7 閉会</p> <p>(以上)</p>
9 会議資料	別添のとおり